

# エリアウェブ

峡東教育事務所  
地域教育支援スタッフ  
TEL 0553-20-2731  
FAX 0553-20-2733

◎回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。峡東教育事務所のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。E-mail:maruyama-xdpr@pref.yamanashi.lg.jp

## 峡東地域の子ども達の幸せのために

峡東教育事務所長 望月 主税

平成29年度がスタートして、すでに1ヶ月が過ぎようとしています。今年度も峡東教育事務所は、笛吹市・山梨市・甲州市という峡東エリアの子ども達の幸せのために頑張っていきます。ご協力をお願いします。

昨年度のエリアウェブをもう一度見直してみると、峡東エリアの保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校で、それぞれが特色ある活動をしていることがわかります。また、笛吹市・山梨市・甲州市もまさに多様な子育て支援の取り組みをしています。まさに地域総ぐるみで、地域の子ども達を育てようとしています。これらの取り組みを峡東エリアに住む多くの大人が知って応援することが、子ども達の健全育成のためにとっても大事なことだと考えます。今年度のエリアウェブが昨年以上に、充実したものになるよう努力していきます。

ところで平成29年度は、小学校において平成32年に迫っている次期学習指導要領全面実施に向けて、様々な準備が始まる年になります。学習指導要領とは、文部科学省が決める大まかな教育目標です。今回の目玉は、グローバル化やIT分野への対応という中で、英語を教科として小学校に導入することやプログラミング学習を導入するなどが上げられます。英語については3、4年生で週1時間、5、6年生で週2時間勉強することになります。

学習指導要領改訂はほぼ10年ごとに行われていることですが、今回の改訂で心配されていることに、英語を教科として導入するために3～6年生の週あたりの授業時間数が1時間増えることがあります。ゆとり教育への批判を受けて、学校の授業時間は一時期よりも増えていました。ここでさらに増やすことが、さまざまな教育課題が山積みの小学校にとってどうしても必要なことなのか。と疑問が投げかけられているのです。

そこには、教員の多忙化という問題もあります。過日の新聞でも、中学校教員の6割は過労死レベルであるなどと書かれていました。それだけ深刻な状況といえます。山梨県でも教職員の多忙化改善の取り組みを今年度から始めました。部活動の見直しや行事の精選、会議のスリム化などが示されていますが、取り組みはまだ始まったばかりです。

教員という仕事は、多様な個性をもった子ども達の良さを伸ばす仕事です。そのためには、常に自らの視野を広げる努力が必要です。学校という職場に閉じこもっていても、多様な価値観を持つ保護者との対応も難しくなります。それが分かっている、職員室に夜遅くまで残らなければならないとしたら、それは教わる子ども達にとっても不幸なことです。

教員の多忙化の改善に取り組むためには、かつての学校と今の学校の何が違い、何が教員の多忙化を生んでいるのか。そのことを地域の方々や保護者の皆様に知っていただくことが大切だと考えます。

峡東教育事務所では、今年度の子育て講演会や、保幼・小・中連携セミナー、人権のための講演会において、今の子ども達や学校の現状についての共通理解が深められるような内容を作っていきたいと思っております。是非とも大勢の方に参加していただき、学校や子ども達の今を共に考えていただければありがたいです。

## 質の高い魅力ある授業を目指して

峡東教育事務所

山梨県教育委員会は、教育の一層の振興を図るため、平成26年度から5年間を計画期間とする本県教育振興の基本計画である『新やまなしの教育振興プラン』を策定しました。基本方針の一つに、「すべての子どもたちが生き生きと学ぶことができる質の高い魅力ある学校づくりの実現を目指します」を掲げ、施策項目で「小・中・高等学校の系統的な学習指導を進めるために、小・中・高等学校の教員が連携し、教科や領域の研究を進めます」と謳っています。峡東教育事務所では、今年も各学校の協力を得て、「異校種間授業参観可能日一覧表」ならびに「県立学校出前授業一覧表」を作成し、配付します。先生方の授業改善の一助として利用していただければ幸いです。

## 子どものスポーツ環境を考える

3市教育委員会

去る1月28日、山梨市民会館において、「子どものスポーツ環境を考える平成28年度3市合同講演会」が開催されました。講師は岐阜大学教授で岐阜大学保育園園長の春日晃章氏で、3市教育長はじめ多くの関係者が参加しました。「生き抜く力を育む子ども発達学～大人のちょっとした工夫が子どもの未来を救う～」と題された2時間にわたる講演で、平成10年から19年までの子どもの体力推移から、日本の子どもの体力低下は幼児期から出現していること、社会で活躍する大人の要素として、認知能力と非認知能力があり、幼児期の経験がものを言う非認知能力が不可欠なこと、ヒトの脳には成長できる「臨界期」があり、それを逃すといくら努力しても限界があることなどが話されました。子どもたちが小さい頃から遊びを通して運動を好きになり、「丈夫な身体、体力・運動能力の向上、強く優しい心、社会適応力」を身につけ、生活に良い連鎖を生むことの大切さや、指導者が気をつけなければならないことなど、子どもの育成にとっても有意義な講演会でした。



## 甲州市PTA連絡協議会学習会

甲州市小中学校PTA連絡協議会

甲州市小中学校PTA連絡協議会では、去る1月30日に、高知大学教育学部准教授の鹿嶋真弓氏を講師にお迎えし、学習会を開催しました。演題は「おとなとこどものコミュニケーション術」で、会場の勝沼市民会館には、教育行政の関係者や市内小中学校の保護者など70名ほどが駆けつけ、熱心に先生の講演を聞いていました。講演では、人は考え続ける力・考え抜く力が必要で、そのためにスピンドルニューロンを伸ばすこと。傾聴すること。伝わる言葉をかけること。承認してあげること。子育て・教育には落とし穴があるなどを、自らの経験を交えながらお話しになり、あっという間の2時間でした。



## 「青ぐみさんとの交流会」

境川小学校・境川保育園

幼児教育振興事業（県）として山梨県幼児教育研究委員会が設置され、幼児教育から小学校教育への接続期の教育の在り方に重点を置いた研究を行い、幼保小連携教育研修委員会で実践発表が行われています。峡東地域では平成27・28年度に山梨市の八幡小学校と八幡保育園が協力校・園に指定され実践発表を行いました。平成28・29年度は笛吹市の境川小学校と境川保育園が指定され研究・実践を進めており、7月4日の研修会で発表することになっています。

連携活動の一つとして、2月7日（火）に境川小学校で1年生と年長児の交流会が開かれました。生活科の授業として1年生が企画・運営し、入学を間近に控えた年長児に紙芝居で学校生活のことを教えたり一緒に楽しくゲームをしたりしながら交流しました。最初は緊張していた園児たちも次第にうち解け、小学校生活への期待と安心感が一人一人の笑顔に表れていました。「青ぐみさんと仲良く楽しくできてよかった」「どきどきしたけどがんばった」「紙芝居がじょうずにできた」など、1年生も上級生として自信をつけた様子でした。



## やまなし生涯学習フェスティバル

## 山梨市教育委員会 生涯学習課

山梨市では2月25日と26日、山梨市民会館において、「まなぶ・つなぐ・いかす」をテーマに、生涯学習フェスティバルを開催しました。当日は多くの市民が集まる中、ホールでは短歌大会の表彰式、公民館コーラス部などによる合唱発表、フラダンスや日本舞踊といった舞台発表などが行われました。また会議室ではタブレット体験講座、オカリナ演奏体験、公民館活動作品展などが、展示室や廊下では加納岩小6年藤田健太さんの立体切り紙、山梨高校書道部・美術部・写真部の作品、市内保育園・幼稚園で取り組んでいる食育に関する資料などが展示されていました。どの発表や展示も、地域における日頃の活動の素晴らしさを物語っており、来場者もいろいろな会場で足を止めて見学をしていました。



## 情報機器の取り扱いに関する 学習会・講演会

## 八代・芦川・境川 地域教育協議会

1月27日（金）に境川小学校給食棟において、浅川中学校区の八代小学校、境川小学校、芦川小学校の6年生115名が「インターネットの安心安全な使い方」について学習しました。総務省関東総合通信局の担当者からSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の基礎的な知識や実際の事例、想定されるトラブル等について、資料映像を使いながら説明があり、ネットの被害者にも加害者にもならないためにはどうすればよいか理解を深めることができました。参加した児童から、「改めてインターネットの怖さを知った。ラインとかツイッターで間違ったことや相手を傷つけることなどを書き込まないようにこれから気をつけていきたい。」「中学校に入りスマホを持つ人たちも増えると思うので、今日の学習会を通してインターネットの正しい使い方を改めて確認することができてよかった。」等の感想発表がありました。午後からは八代小学校に会場を移し、4校の保護者を対象にした講演会が開催されました。

中学校入学を前に同じ中学校区の児童が顔を合わせ、交流を深めながら合同学習する機会を設けたことは、学校間連携の推進という点でも、また、学校・家庭・地域が一体となって児童・生徒の指導にあたるためにも大変有意義な取組であったと思います。



## 体の使い方講座

## 県スポーツ指導者協議会 甲州市・山梨市教育委員会

山梨県スポーツ指導者協議会東山梨支部では、3月18日（土）に勝沼体育館において、「第1回体の使い方講座」を開催しました。講師に（社）日本スポーツ基本動作審議会代表理事の小池龍次郎氏をお招きし、剣道やバドミントンなどいろいろなスポーツをしている児童・生徒とその保護者25名ほどが参加する中で、「スポーツと障害」「どのスポーツにも共通する、強い動きを作るポイント」などが話されました。特に前者に関しては、ご自身の経験を踏まえながら、「頑張るほど、障害が発生する可能性があること」「正しいフォームを覚えれば、障害を防ぐことができること」などが話されました。また後者に関しては、「時計の7時05分から7時35分方向への動き」「引き寄せる・回る」といった助言言葉を使いながら、実際に参加者と一緒に動きを確認していました。



## 見守り隊への感謝の気持ちを伝える会

春日居小学校

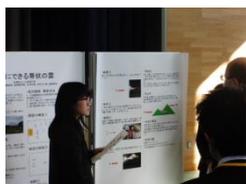
春日居小学校では3月14日（火）に、児童の安全な登下校を見守ってくれる地域の方々に感謝の気持ちを伝える会を行いました。真夏の暑い日も真冬の凍えそうな日も通学路に立ち、指導して下さった方々に、児童会長から「皆さんのおかげで、安心して登校できます。ありがとうございます」とお礼の言葉が述べられると、隊長の田中さんから、「私たちは、皆さんを家から学校まで、学校から家まで安全に見届けることを一番に考えています。大きくなって、山梨県のために頑張りたいです」とエールが送られました。



## SSH研究発表会

日川高等学校

日川高等学校では、平成24年に文部科学省から指定を受け取り組んでいるSSH（スーパーサイエンスハイスクール）1期目の集大成とも言える研究発表会を、2月21日（火）に開催しました。当日は多くの来賓・運営指導委員・保護者・生徒などが参加する中、3年生2名による研究発表と、15のポスターセッションが行われました。荒削りながら高校生らしい着眼点を持つ発表で、科学に対する探究心を持たせること、自分の考えを発表する技術習得の素晴らしさと、それを支える先生方のご苦勞を垣間見ることができました。



## 峡東地域県立学校 学校説明会・オープンスクール等の日程

来春進学を控えた中学3年生・高校3年生を対象にした各校の行事です。地域の学校を知る機会としてご活用ください。なお、申込み方法など詳しいことは、各学校のホームページなどでご確認ください。

（開始時刻等に変更が生じる場合もありますので、ご承知おきください）

学校名	行事	日時	会場
笛吹高校	学校説明会 オープンスクール ふれあいフェスタ笛吹	7月15日（土）時間未定 8月22日（火）午後・23日（水）午後 11月3日（金）10：00（予定）	笛吹高校
日川高校	学校説明会 オープンスクール・サイエンスジャンプ スクールツアー	7月8日（土）9：30・13：30 8月27日（日）8：30 10月中～下旬 日時未定	山梨市民会館 日川高校 //
山梨高校	学校説明会 体験授業・部活動見学	7月15日（土）9：15 8月26日（土）9：15	山梨高校
塩山高校	学校説明会 中学生一日体験入学	8月10日（木）13：00 9月23日（土）9：00	甲州市民文化会館 塩山高校
ろう学校	学校公開・学部説明会 体験授業（小6・中3対象） 「きこえ」と「ことば」の相談会	6月3日（土）9：00 6月3日（土）13：00 7月9日（日）～11日（火）（予約制）	ろう学校
高等支援学校 桃花台学園	オープンスクール 授業体験会	5月30日（火）・6月13日（火） 8月26日（土）	桃花台学園
県立産業技術 短期大学校	オープンキャンパス	5月28日（日）・7月2日（日）・8月20日（日）・12月3日（日） 6月10日（土）・7月30日（日）・12月3日（日） <各回10：00～>	塩山キャンパス 都留キャンパス

## ことぶき勸学院入学式・開講式

山梨ことぶき勸学院

山梨ことぶき勸学院では、4月14日（金）コラニー文化ホールにおいて、平成29年度入学式を行い、184名の新生が入学しました。守屋守学院長は式辞の中で、紛争・難民・貧困・格差といった様々な課題に直面している今日、いかに生きていくべきかを自分で考え、行動を起こしていかなければならないと新生を激励しました。午後にはテレビ山梨ディレクター名執暲子氏による「取材から見えた いきいき人生」という講演が行われ、取材地で出会った高齢者の元気な活動が紹介されました。

また、峡東教室においては、2年生の開講式が4月21日（金）に、1年生の開講式が4月25日（火）に行われ、今年度の勸学院での学習がスタートしました。



入学式



講演



2年生開講式



1年生開講式

## 子育て講演会の御案内

峡東地域教育推進連絡協議会

テーマ 「押しつけ」にならずに「教育」するには？

～自発性の育ち方と育て方～

- 1 期 日 平成29年 6月29日（木） 14：00受付 14：30開演  
2 場 所 山梨市民会館 ホール  
3 講 師 山梨英和大学 准教授 佐柳 信男 氏



峡東地域教育推進連絡協議会では、講師に山梨英和大学准教授の佐柳信男先生をお迎えして、子育て講演会を開催します。佐柳先生は、山梨英和大学において発達心理学・教育心理学の教鞭を執るかたわら、YBSテレビ「子育て日記」のコメンテーターとして活躍されている先生です。最先端のモチベーション研究の観点から、押しつけずに教育やしつけをするヒントが聞けるとおもいますので、ぜひ多くの皆さんにご参加いただけますようお願いいたします。詳細につきましては、峡東教育事務所地域教育支援スタッフ（TEL 0553-20-2731）までお気軽にお問い合わせください。

## 峡東教育事務所 地域教育推進事業について

### 【主な業務】

- ① 峡東地域教育推進連絡協議会の運営
- ② 保幼・小・中・高・特支・大学の連携推進
- ③ 子育て・連携・人権に関する講演会の開催
- ④ 異校種間授業参観や県立学校からの出前講義の推進
- ⑤ 地域教育情報誌「エリアウェブ」の発行
- ⑥ 成人教育の推進（ことぶき勸学院他）
- ⑦ 青少年教育の推進（やまなし少年海洋道中他）

### 【スタッフ】

- 地域教育支援 筒井 寿・丸山 淳  
昨年度までの活動を引き継ぎ、家庭・地域・学校の繋がりを大切にしたいと取り組むを推進していきたいと考えています。みなさまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。
- SSW 工藤 弥生（臨床発達心理士）・内藤 春美（保護司）  
今年度も管内の児童・生徒の問題解決を支援するために、2名のSSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）がサポートします。何かあったら一人で悩まず、お気軽に相談をしてください。



# 山梨県立山梨高等学校

## 「めんどろみ」ism

職員室前には「質問コーナー」が設置されており、日常的に質問をする生徒の姿が見られます。またそれだけでなく、二者懇談にも利用され、生徒と先生とのコミュニケーションの場となっています。この“めんどろみ ism”は梨高の校風であり、生徒同士が助け合う場面も多く見られます。



## 「頑張り」ism

県総体などで多くの部が活躍しています。昨年度は陸上・ハンドボール・バドミントン・ソフトテニスが関東大会出場を果たし、文化部でも吹奏楽・放送・写真・美術など県外大会に出場しました。学園祭においても、クラス全体が一丸となり紡ぎ出す生徒達の絆には感動するものがあります。“頑張り”を通じて仲間と友情を育てています。



# 梨高イズム

『梨高イズム』とは、

梨高で大切にしている教育理念を、5つの「ism」(主義・理念)として掲げているもの、それが梨高イズムです。こうありたい・こうあってほしいという生徒と教職員の姿を象徴しています。

校訓「至誠無息」(常に誠実であることを目指して怠ることなく自分を磨く)の教えをもとに、梨高イズムによる教育活動に力を入れています。



## 「自立」ism

時間に管理されるのではなく、「自分で時間を管理する」をモットーに、梨高では「ノーチャイム」を実施しています。「早めの行動が意識できるようになった」と、生徒からも好評です。また、遅刻や欠席が少ないことも、高い自己管理能力を身につけていることの現れです。“自立ism”により、自身の将来を構築していける社会人を目指しています。



## 「思いやり」ism

ひとに優しく、仲間を思いやる人であってほしいと、毎年生命(いのち)の授業を行っています。実際に何組かのお母さんと赤ちゃんに参加していただき、共に学ぶ中で、自分がどのように生まれ、どのように周囲の人たちに育てられてきたのか、再確認しています。このような体験が梨高の“おもいやり ism”を育てているのです。



## 「未来」ism

生徒それぞれの進路実現のために、少人数授業や個別指導をはじめ、土曜課外・長期休業課外などの進路指導に力を入れています。土曜課外は大学進学希望者に対して年間15回、予備校講師を学校に招いて講義をしています。昨年度は国公立大学20名をはじめとした100名を超える生徒が大学や短大へ進学しました。自身の豊かな未来を実現すべく、日々努力しています。



## 2017年 創立100周年

本校は、第一次世界大戦中の1917(大正6)年に東山梨郡立実科高等女学校として創立されました。その後、男女共学、女子校、総合選抜、全県一区と時代の変化に歩調を合わせながら常に未来を見据えた教育活動を行い、本年創立100周年を迎えました。昨年4月には国際化社会に対応すべく、英理総合コースがスタートするなど現在も進化しつつ、地域をはじめとし、幅広い場面で活躍する人材を育成しています。